資料３

令和４年度の大阪府環境保全基金の活用事業について

（目的指定寄附金活用事業）

【名称】カーボンニュートラル技術開発・実証事業

【概要】

　2050年カーボンニュートラル実現に向けた取組みを加速する大阪・関西万博において、

脱炭素社会の構築に資する最先端技術を披露することで、持続可能な次世代グリーンビジネスとして、世界への発信と社会への展開・拡大をめざす事業者に対し、試作開発や実証等に必要な経費の一部を補助する。

※参考

（公社）２０２５年日本国際博覧会協会　未来社会における環境エネルギー検討委員会

中間取りまとめ　「EXPO 2025 グリーンビジョン」（2021年6月22日公開）

下記の技術を核として、実証・実装プロジェクトを実施する。プロジェクトの実施にあたっては、大阪・関西万博の事業費、政府等の支援、企業等の自己負担等様々な方法での実施を検討する。

（１）エネルギーマネジメント

　エネルギーマネジメントシステム技術（VPP 技術を含む） / モビリティによるエネルギーマネジメント及び停電時の給電 / 電力貯蔵

（２）水素エネルギー等

　水素発電　/ アンモニア発電　/ 燃料電池（純水素型燃料電池等）　/ 海外クリーン水素サプライチェーン　/ 水素等を燃料とする次世代モビリティ　/ 再生可能エネルギー電力からの水素製造

（３）再生可能エネルギー

　次世代型太陽電池発電　/ 太陽熱発電　/ 風力発電、洋上風力発電　/ 廃棄物発電 /帯水層蓄熱　/ 海水冷熱利用 / 熱源水ネットワーク

（４）3R（廃棄物、リサイクル）

　食品残渣等からのバイオガス製造　/ 生分解性容器のリサイクル及びバイオエタノール製造

（５）CO2 回収・利用

　二酸化炭素直接空気回収(DACCS ; Direct Air Carbon　Capture and Storage) につながる技術　/ CO2 吸収型コンクリート / メタネーション